

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福岡女子大学
設置者名	公立大学法人福岡女子大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
国際文理学部	国際教養学科	夜・通信		237	13	250	13	
	環境科学科	夜・通信			37	274	13	
	食・健康学科	夜・通信			58	295	13	
(備考) 小数点以下、切り上げ								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス検索画面にて、「 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している授業」にチェックを入れて検索。 シラバス URL : https://aaweb.fwu.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡女子大学
設置者名	公立大学法人福岡女子大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.fwu.ac.jp/disclosure/pdf/2021/yakuinmeibo2.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	九州電力株式会社 特別顧問	2021. 4. 1～ 2023. 3. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	三井住友海上火災保険 株式会社 顧問	2021. 4. 1～ 2023. 3. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	福岡商工会議所 会頭	2021. 4. 1～ 2023. 3. 31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡女子大学
設置者名	公立大学法人福岡女子大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 「福岡女子大学シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業科目ごとに担当教員等がシラバスを作成し、HP上で公表している。</p> <p>【福岡女子大学シラバス作成ガイドライン (要約)】</p> <p>1. 授業の概要</p> <p>(1) どのような授業を行うのか、授業の趣旨を授業者を主語として記入 (例：〇〇を講義する/〇〇を説明する/〇〇を紹介する/〇〇を明らかにする等)</p> <p>(2) 学生が理解できるよう、分かりやすい言葉で具体的に書く。専門用語は多用しない。</p> <p>(3) カリキュラム全体との関連や他の授業科目との関連を明記すると分かりやすい。</p> <p>2. 授業計画</p> <p>(1) 「タイトル」に各回の授業のタイトルを記入する。 (例：第1回 ガイダンス・導入「〇〇とは」)</p> <p>(2) 「フリー欄」に以下を記入する。</p> <p>①授業の具体的な内容を簡潔に記入 ②授業時間外の学習内容を記入する (例1：教科書の〇〇を事前に読んでおくこと (60分)) (例2：次回の授業内容を予習し、専門用語の意味を理解しておくこと (1.5時間))</p> <p>③「第2～4回はグループによるディスカッション」のように数回分をまとめて記入も可</p> <p>3. 事前学習・事後学習</p> <p>(1) 事前学習・事後学習の内容や方法について入力</p> <p>4. 身につく基礎力</p> <p>(1) 福岡女子大学基礎力で、「5」、「4」をつけたものを入力 ※福岡女子大学基礎力 論理的思考、問題解決力等10項目に1～5のレベルを設定。必ず「5」を1つ以上、「4」を2つ以上設定する。</p> <p>5. 学習相談・助言体制</p> <p>(1) 授業に関する質問の受付方法を記入 (例：質問はメール、および講義の前後に受け付けるやオフィスアワー時、等)</p> <p>6. 教員への連絡方法</p> <p>(1) 教員への連絡方法、連絡先(メールアドレスや電話番号等)を記載 (記載したくない場合は「授業の初回で学生へ周知」でも可)</p>

7. 授業のねらい

- (1) 学生が当該授業科目を修得した時点で「期待させる、知っている、できること」等を明確に記載
- (2) 身につく基礎力に対応するように記載
(例：〇〇について、その問題点の理由などを理論的に説明することができる(「理論的思考力に対応」))
- (3) この授業の終了段階で、できるようになってほしい行動を学生を主語として「〇〇できる」という形式で記載
(例：〇〇について知り、△△できるようになる)

8. 履修条件

- (1) 学生のニーズと授業内容のミスマッチを防ぐため、受講にあたって前提となる知識、技能、態度を記入

9. 関連科目

- (1) 予め学んでおくとい科目：当該科目を履修する前に履修しておくとい科目を選択し、関連度を5段階で入力
- (2) この科目に続く内容の科目：当該科目を履修した後に履修するとよい科目を選択し、関連度を5段階で入力

10. テキスト・参考書

- (1) 教科書を使用するかどうかを記載。使用する場合は、絶版になっていないかを確認の上、書名、著者名、出版年、出版社名、価格について記載
- (2) 毎回資料を配布する場合はそのことを記載し、欠席した場合の資料の渡し方、配布のルールについても記載
- (3) 興味を持った学生が自ら学習ができるよう、できるだけ参考文献を挙げておく

11. この授業の特色

- (1) 教員が授業を行うにあたり工夫している点、他の授業と異なる点を中心に記入
- (2) どのような授業形態をとるのか(毎回ディスカッションの時間を多くとる、プレゼンテーションを行う等)を記入

12. 成績評価方法

- (1) 授業の成果として学生の学習を測定する方法について「評価方法」及び「割合」、「評価基準」について記載
(授業への出席は成績評価前提のため、出席を成績評価には含めない)

【例年のシラバス作成スケジュール】

前年度1月末ごろ	教員へのシラバス作成依頼
2月末	シラバス作成締め切り
3月	シラバス公開

授業計画書の公表方法

https://aaweb.fwu.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

履修規程に「成績の評価と単位修得の認定」として、成績評価の基準を定めている。

【福岡女子大学国際文理学部履修規程（抜粋）】

(成績の評価と単位修得の認定)

第17条 学業成績の評価は、原則として定期試験の成績及び平素の成績によって行う。

- 2 学業成績は100点満点で採点し、60点以上を合格とする。合格者には単位が与えられる。
- 3 前項の学業成績は90点以上を「S」、80点以上90点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」、60点未満を「D」の5段階の標語をもって表す。
- 4 再試験による学業成績は、当該成績の8割が60点以上のものを合格とし、合格の場合の成績は一律「C」とする。
- 5 その学期の実授業時間の3分の2以上出席していない科目については、成績の評価は行わず、単位修得を認めない。
- 6 実験・実習科目の単位は、関連する講義の単位を修得していないと与えられない。
- 7 特に指定された場合を除いて、同一科目を二度履修しても単位は与えられない。

また、シラバスの「成績評価」欄に成績評価方法を記載し、あらかじめ成績評価の方法・基準を示しており、各教員はシラバスの記載と矛盾がないよう成績評価を行う。教員に向けては、「福岡女子大学シラバス作成ガイドライン」において、「成績評価」欄の記載すべき事項を示している。

【福岡女子大学シラバス作成ガイドライン（要約）】

成績評価方法

- (1) 授業の成果として学生の学習を測定する方法について「評価方法」及び「割合」、「評価基準」について記載

(授業への出席は成績評価前提のため、出席を成績評価には含めない)

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「GPAに関する要綱」を定め、学生便覧やホームページに掲載して、GPAの算出方法等を公表している。教務システム内で学期ごとにGPA計算を行い、各学生の当該学期・通算GPA、GPA順位、平均GPAを算出している。

【福岡女子大学におけるGPAに関する要綱（抜粋）】

(定義)

第2条 この要綱において「GPA」とは、各授業科目の5段階の成績評価に対応して4～0の評点（グレードポイント。以下「GP」という。）を付与して算出する1単位当たりの評定平均値をいう。

(対象授業科目)

第3条 GPAの算出の対象授業科目は、学部において5段階評価を受けた授業科目とする。本学以外で修得した授業科目又は入学前に修得した授業科目のうち本学で単位認定を受けた科目は、GPAの算出の対象授業科目とする。

(配点)

第4条 評価された成績の段階ごとに、次に掲げるGPを配点する。

- (1) S (90～100) GP=4
- (2) A (80～90点未満) GP=3
- (3) B (70～80点未満) GP=2
- (4) C (60～70点未満) GP=1
- (5) D (60点未満) GP=0

(GPAの種類及び計算方法)

第5条 GPAは、次の各号に区分し、当該各号に定める方法により計算する。この場合において、計算値は、小数点以下第2位を四捨五入して表記する。

イ 学期ごとGPA

一学期の、一授業科目の成績評価で得たGPに、当該一授業科目の単位数を乗じる計算を、当該一学期に成績評価を受けた授業科目分行い、その合計を、当該一学期に成績評価を受けた授業科目の単位数の合計で除して算出する。

ロ 通算GPA

入学時からの現在の学期までの、一授業科目の成績評価で得たGPに、当該一授業科目の単位数を乗じる計算を、入学時から現在の学期までに成績評価を受けた授業科目分行い、その合計を、入学時から現在の学期までに成績評価を受けた授業科目の単位数の合計で除して算出する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

- ・ 国際文理学部履修規程
- ・ GPAに関する要綱

<http://www.fwu.ac.jp/disclosure/publish.html>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】 本学の教育理念（次代の女性リーダーを育成、国際性や幅広い教養を持った人材を育成）に基づき、以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 主体的な自己を確立し、自ら率先して新しい社会作りに挑戦する使命感と情熱、行動力 (2) 様々な国・地域・人々の多様性を理解・尊重する姿勢と多元的なものの見方・考え方を身につけ、グローバル社会の課題解決に貢献できる実践力 (3) 福岡とアジアそして世界をつなぐ、グローバルなネットワークの形成に貢献できる国際的視野とコミュニケーション能力 (4) 国内外の大学院への進学に対応できる専門的な知識や技能はもとより、幅広い視野からの総合的な判断力、知識や技能の応用力 <p>卒業の認定手順 ディプロマ・ポリシーに挙げられた能力の修得を可能とするカリキュラムを策定し、卒業の認定に当たっては各学科・コースにおいて、既修得単位数の確認を行い、教授会の議を経て卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡女子大学学位規程 http://www.fwu.ac.jp/disclosure/publish.html ・国際文学部学位授与方針（ディプロマ・ポリシー） http://www.fwu.ac.jp/faculty/arts_sciences/ ・各学科学位授与方針（ディプロマ・ポリシー） http://www.fwu.ac.jp/faculty/policy/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福岡女子大学
設置者名	公立大学法人福岡女子大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fwu.ac.jp/disclosure/com.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.fwu.ac.jp/disclosure/com.html
財産目録	非公開
事業報告書	http://www.fwu.ac.jp/disclosure/com.html
監事による監査報告(書)	http://www.fwu.ac.jp/disclosure/com.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:年度計画)	対象年度:2021年度)
公表方法: http://www.fwu.ac.jp/disclosure/pdf/2021/yearlyplan.pdf	
中長期計画(名称:中期計画)	対象年度:2018~2023年)
公表方法: http://www.fwu.ac.jp/disclosure/pdf/2018/2018tyukikeikaku.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:<http://www.fwu.ac.jp/disclosure/com.html>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:<http://www.fwu.ac.jp/disclosure/com.html>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際文理学部
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.fwu.ac.jp/faculty/arts_sciences/) (概要) 【教育目標】 時代や社会の変化に柔軟に対応するため、人類の文化、社会と自然に関する文理統合した知識とグローバル社会とその課題に対する専門的知識を備え、確かな判断力、適応力、多元的思考力を養成すると共に、主体性、多様性への寛容、倫理感を涵養し、感性や独創性、創造性を発揮して多文化共生と持続可能社会の実現に寄与できる女性リーダーの育成を目指す。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.fwu.ac.jp/faculty/arts_sciences/) (概要) 【学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)】 本学の教育理念 (次代の女性リーダーを育成、国際性や幅広い教養を持った人材を育成) に基づき、以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与する。 (1) 主体的な自己を確立し、自ら率先して新しい社会作りに挑戦する使命感と情熱、行動力 (2) 様々な国・地域・人々の多様性を理解・尊重する姿勢と多元的なものの見方・考え方を身につけ、グローバル社会の課題解決に貢献できる実践力 (3) 福岡とアジアそして世界をつなぐ、グローバルなネットワーク形成に貢献できる国際的視野とコミュニケーション能力 (4) 国内外の大学院への進学に対応できる専門的な知識や技能はもとより、幅広い視野からの総合的な判断力、知識や技能の応用力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.fwu.ac.jp/faculty/arts_sciences/) (概要) 【教育編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)】 その教育目標に基づき、文理を統合した多元的思考力をもって国際的にも活躍できる人材を育成するため、国際文理学部に 3 つの学科 (国際教養学科、環境科学科、食・健康学科) を置き、次の方針に沿ってカリキュラム (教育課程) を編成する。 以下、省略 (13 項目を設定)

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.fwu.ac.jp/faculty/arts_sciences/)</p>
<p>(概要) 【アドミッション・ポリシー】 国際文理学部では、その教育理念のもと、地域社会や国際社会への貢献という高い志と、何事にも挑戦する意欲、基本的な学力を有した優秀な学生を求める。学生の選抜にあたっては、以下のような学生の受け入れを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の発展や課題解決に貢献しようとする志を持つ、向学心旺盛な学生 ・高等学校教育段階における基礎学力を有している学生 ・入学を希望とする学科に関連する事象に深い関心を持ち、高等学校までに学んだ知識・経験を活用し、その解決に向けて探求し、その成果等を自らの言葉と視点で説明することができる学生 ・各学科のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えている学生

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： http://www.fwu.ac.jp/about/rules.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5人	—					5人
国際文理学部	—	28人	27人	18人	3人	7人	83人
国際化推進センター	—	0人	1人	0人	0人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		99人					99人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.fwu.ac.jp/teachersdatabase/list/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
4月6日 AA/FYS 担当者向け FD①							
6月4日～10日 遠隔授業研究週間							
8月26日 人権研修：様々なハラスメント（アカデミックハラスメント等）について							
10月28日 教育の「質」保証のために ～DPと各科目の関係性について～							
12月2日 FWU COMPASS「世界を動かすひとを育てる」福女大正課内外での「体験学習」の機会について							
3月3日 知的財産権セミナー：著作権法第35条施工に伴う留意点とオンライン授業教材制作							
3月4日 遠隔授業反省会&講義におけるICT活用相談会							
3月15日 AA/FYS 担当者向け FD②							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際文理学部	240人	243人	101.3%	960人	1028人	107%	0人	0人
合計	240人	243人	101.3%	960人	1028人	107%	0人	0人

(備考)

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際文理学部	239人 (100%)	13人 (5.4%)	180人 (75.3%)	46人 (19.2%)
合計	239人 (100%)	13人 (5.4%)	180人 (75.3%)	46人 (19.2%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
 進学先：名古屋大学大学院、福岡女子大学大学院、韓国梨花女子大学大学院。就職先：官公庁、楽天カード、鴻池組、西部ガス、西日本鉄道、新別府病院、麻生飯塚病院、株式会社やずや、三井住友海上火災保険株式会社、九電ビジネスソリューションズ株式会社

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
国際文理学部	239人 (100%)	199人 (83.3%)	38人 (15.9%)	2人 (0.8%)	人 (%)
合計	239人 (100%)	199人 (83.3%)	38人 (15.9%)	2人 (0.8%)	人 (%)

(備考) 割合は小数点以下第2位を四捨五入。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

「福岡女子大学シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業科目ごとに担当教員等がシラバスを作成し、HPで公表している。

URL: https://aaweb.fwu.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010

【福岡女子大学シラバス作成ガイドライン (要約)】

1. 授業の概要

(1) どのような授業を行うのか、授業の趣旨を授業者を主語として記入
 (例：〇〇を講義する/〇〇を説明する/〇〇を紹介する/〇〇を明らかにする等)

- (2) 学生が理解できるよう、分かりやすい言葉で具体的に書く。専門用語は多用しない。
- (3) カリキュラム全体との関連や他の授業科目との関連を明記すると分かりやすい。

2. 授業計画

- (1) 「タイトル」に各回の授業のタイトルを記入する。
(例：第1回 ガイダンス・導入「〇〇とは」)
- (2) 「フリー欄」に以下を記入する。
 - ①授業の具体的な内容を簡潔に記入
 - ②授業時間外の学習内容を記入する
(例1：教科書の〇〇を事前に読んでおくこと(60分))
(例2：次回の授業内容を予習し、専門用語の意味を理解しておくこと(1.5時間))
 - ③「第2～4回はグループによるディスカッション」のように数回分をまとめて記入も可

3. 事前学習・事後学習

- (1) 事前学習・事後学習の内容や方法について入力

4. 身につく基礎力

- (1) 福岡女子大学基礎力で、「5」、「4」をつけたものを入力

※福岡女子大学基礎力

論理的思考、問題解決力等10項目に1～5のレベルを設定。必ず「5」を1つ以上、「4」を2つ以上設定する。

5. 学習相談・助言体制

- (1) 授業に関する質問の受付方法を記入
(例：質問はメール、および講義の前後に受付けるやオフィスアワー時、等)

6. 教員への連絡方法

- (1) 教員への連絡方法、連絡先(メールアドレスや電話番号等)を記載
(記載したくない場合は「授業の初回で学生へ周知」でも可)

7. 授業のねらい

- (1) 学生が当該授業科目を修得した時点で「期待させる、知っている、できること」等を明確に記載
- (2) 身につく基礎力に対応するように記載
(例：〇〇について、その問題点の理由などを理論的に説明することができる(「理論的思考力に対応」))
- (3) この授業の終了段階で、できるようになってほしい行動を学生を主語として「〇〇できる」という形式で記載
(例：〇〇について知り、△△できるようになる)

8. 履修条件

- (1) 学生のニーズと授業内容のミスマッチを防ぐため、受講にあたって前提となる知識、技能、態度を記入

9. 関連科目

- (1) 予め学んでおくとよい科目：当該科目を履修する前に履修しておくことよい科目を選択し、関連度を5段階で入力
- (2) この科目に続く内容の科目：当該科目を履修した後に履修するとよい科目を選択し、関連度を5段階で入力

10. テキスト・参考書

- (1) 教科書を使用するかどうかを記載。使用する場合は、絶版になっていないかを確認の上、書名、著者名、出版年、出版社名、価格について記載
- (2) 毎回資料を配布する場合はそのことを記載し、欠席した場合の資料の渡し方、配布のルールについても記載
- (3) 興味を持った学生が自ら学習ができるよう、できるだけ参考文献を挙げておく

11. この授業の特色

- (1) 教員が授業を行うにあたり工夫している点、他の授業と異なる点を中心に記入
(2) どのような授業形態をとるのか(毎回ディスカッションの時間を多くとる、プレゼンテーションを行う等)を記入

1 2. 成績評価方法

- (1) 授業の成果として学生の学習を測定する方法について「評価方法」及び「割合」、「評価基準」について記載
(授業への出席は成績評価前提のため、出席を成績評価には含めない)

授業科目一覧、授業の方法(講義、演習、実習、実験の別)が記載されている国際文理学部履修規程をHP上で公表

URL:<http://www.fwu.ac.jp/disclosure/publish.html>

国際文理学部時間割をHP上で公表

URL:<http://www.fwu.ac.jp/disclosure/publish.html>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

履修規程に「成績の評価と単位修得の認定」として、成績評価の基準を定めている。

【福岡女子大学国際文理学部履修規程(抜粋)】

(成績の評価と単位修得の認定)

- 第17条 学業成績の評価は、原則として定期試験の成績及び平素の成績によって行う。
- 2 学業成績は100点満点で採点し、60点以上を合格とする。合格者には単位が与えられる。
 - 3 前項の学業成績は90点以上を「S」、80点以上90点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」、60点未満を「D」の5段階の標語をもって表す。
 - 4 再試験による学業成績は、当該成績の8割が60点以上のものを合格とし、合格の場合の成績は一律「C」とする。
 - 5 その学期の実授業時間の3分の2以上出席していない科目については、成績の評価は行わず、単位修得を認めない。
 - 6 実験・実習科目の単位は、関連する講義の単位を修得していないと与えられない。
 - 7 特に指定された場合を除いて、同一科目を二度履修しても単位は与えられない。

また、シラバスの「成績評価」欄に成績評価方法を記載し、あらかじめ成績評価の方法・基準を示しており、各教員はシラバスの記載と矛盾がないよう成績評価を行う。教員に向けては、「福岡女子大学シラバス作成ガイドライン」において、「成績評価」欄の記載すべき事項を示している。

【福岡女子大学シラバス作成ガイドライン(要約)】

成績評価方法

- (1) 授業の成果として学生の学習を測定する方法について「評価方法」及び「割合」、「評価基準」について記載
(授業への出席は成績評価前提のため、出席を成績評価には含めない)

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

本学の教育理念（次代の女性リーダーを育成、国際性や幅広い教養を持った人材を育成）に基づき、以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学位を授与する。

- (1) 主体的な自己を確立し、自ら率先して新しい社会作りに挑戦する使命感と情熱、行動力
- (2) 様々な国・地域・人々の多様性を理解・尊重する姿勢と多元的なものの見方・考え方を身につけ、グローバル社会の課題解決に貢献できる実践力
- (3) 福岡とアジアそして世界をつなぐ、グローバルなネットワークの形成に貢献できる国際的視野とコミュニケーション能力
- (4) 国内外の大学院への進学に対応できる専門的な知識や技能はもとより、幅広い視野からの総合的な判断力、知識や技能の応用力

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
国際文理学部	国際教養学科	124 単位	有・無	45 単位
	環境科学科	124 単位	有・無	45 単位
	食・健康学科	124 単位	有・無	45 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.fwu.ac.jp/campuslife/campus.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
国際文理学部	全学科 (県内)	535,800 円	282,000 円	193,000 円	【その他の費用】1年次全寮制のため、寮費(年額)と清掃費が必要
	全学科 (県外)	535,800 円	520,000 円	193,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 【学費・奨学金】 ・HPにおいて、入学料・授業料、その他初年次に必要な納入金の案内 ・授業料減免制度あり ・奨学金（日本学生支援機構、各団体）の手続き 【障害学生支援】 ・HPにおいて、障害のある学生等の支援に関する基本方針、障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領や留意事項の公表 ・入学手続き時に、「障害のある学生の修学支援等希望調査票」を合格通知とともに送付している。合理的配慮の申出は入学後いつでも可能。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 【キャリア教育の実施】 インターンシップ（企業や官公庁での就業体験）の実施。 【就職活動の支援】 担当制による就職相談（キャリアカウンセリング）の実施、就職対策講座の開催など。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 【保健室】 健康相談、応急処置などを行い、学生の健康管理をサポートする。 (開室時間) 月～金（土・日・祝日・年末年始を除く） 8：30～17：15 【学生相談室】 学業・進路・将来のこと・対人関係の悩みなど臨床心理士が相談に応じる。特に悩みや困ったことはないが、ただ話がしてみたいという学生も受け入れている。個人の秘密は厳守される。 (相談日時) 隔週月曜日 11：00～17：00 毎週火曜日・隔週水・木曜日 12：00～17：00

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.fwu.ac.jp/disclosure/publish.html>